

資料4：市町村事業におけるがん検診対象者数の算  
定について

(小坂委員提出資料)

# 市町村事業による 「がん検診対象者数」の算定について (案)

東北大学大学院

小坂 健



# 背景

- 市町村事業によるがん検診の対象者数の算定は、独自の方法で行っている自治体が多い。
- このため、市町村間での受診率の比較が困難である場合があること、受診者の算定のための調査を行っている自治体もあり、労力や予算が負担になっていることが指摘されている。

# がん検診対象者

## 各自治体のがん検診対象者数の算定方法

N=607	自治体数	%
全数把握	115	18.9%
過去(現在) の調査を基に算出	66	10.9%
都道府県で決められた方法	73	12.0%
その他の算出方法	333	55.7%
合計	592	97.5%

平成18年度 厚生労働省「がん検診の受診率向上に向けた有効な手段の開発に関する研究」

40歳以上の男女  
(子宮がん・乳がん別途)



職域で健診の機会のある者を除く



医療の中で検診相当行為を受けた者は除く



個人的に検診を受けたものを除く



検診を受けることが事実上不可能な者は除く



対象者(推計)

# がん検診対象者とは

市町村がん検診対象者

40歳以上人口

入院	介護施設等への入所	人間ドックや医療での検診受診者	国民健康保険加入者
			政府管掌健保・組合健保被保険者
			政府管掌健保・組合健保被保険者の被扶養者 (扶養者の保険者等による検診あり)
			政府管掌健保・組合健保被保険者の被扶養者 (扶養者の保険者等による検診なし)

# がん検診対象者

## 自治体のがん検診対象者数の算定方法

### 熊本市の例

2 乳がん検診(40歳以上女性)対象者数		102,700人	
①	総人口 (人)	177,150	平成12年国勢調査データ
②	就業者数 (人)	73,549	"
③	農林水産業従事者数 (人)	4,183	"
④	非就業者率	0.6084	$1 - (\text{②} - \text{③}) / \text{①}$
⑤	非就業者数 (人)	107,778	$\text{①} \times \text{④}$
⑥	長期入院者数 (人)	1,367	一般; 781 (国保データ: 平成13年11月診療分)
			精神; 586 "
⑦	施設入所者数 (人)	3,633	介護保険データ(平成16年4月審査分)
⑧	乳がん罹患患者数 (人)	78	$\text{⑤} \times 72.0 / 10万$
⑨	子宮がん罹患患者数 (人)	47	$\text{⑤} \times 43.5 / 10万$
⑩	対象者数 (人)	102,653	$\text{⑤} - \text{⑥} - \text{⑦} - \text{⑧} - \text{⑨}$

(参考資料)

⑧⑨ 「熊本県のがん—平成12年—」より熊本市分

\* 72.0; 熊本市人口10万対乳がん粗罹患率

\* 43.5; 熊本市人口10万対子宮がん粗罹患率

# がん検診対象者数の算出方法

- ⇒ 市町村が利用可能な公開されているデータを用いることが望ましい。
- ⇒ 対象者数の算定は男女別、年齢階級別（5歳刻み）としてはどうか。  
〔40-44, 45-49, 50-54, 55-59, 60-64, 65-69, 70-74, 75-79, 80-〕

子宮がん、乳がんについてはそれぞれ20歳以上、40歳以上の女性とする。



# 算定に当たって考慮すべき数値

(胃がん、大腸がん、肺がんの場合)

- ① 40歳以上の人口 男女→市町村の人口
- ② 職域で検診の機会のある者を除く→就業者人口
- ③ 医療の中で検診相当行為を受けた者を除く
- ④ 個人的に検診を受けた者を除く
- ⑤ 検診を受けることが事実上不可能な者は除く→入院患者  
や要介護者
- ⑥ その他(当該疾患で治療中の者)

$$\text{推計対象者数} = \text{①} - \text{②} - \text{⑤}$$

③、④は実態把握が困難

⑥は全体の数からすると小さな数であることや年齢別の数値の入手が困難

# 具体的な算定方法(案)

- ① 40歳以上の市町村人口 [総務省統計局「国勢調査報告」第1次資料(5歳刻み)5年毎更新]
- ② 40歳以上の就業者数 [総務省統計局「国勢調査報告」第2次基本資料(5歳刻み)5年毎更新]
- ③ 農林水産業従事者 [総務省統計局「国勢調査報告」第2次基本資料 5年毎 ]
  - a)第1次産業就業者 市町村別 (15-64歳、65歳以上の2区分)
  - b)第1次産業就業者 都道府県別 年齢別(5歳刻み)の割合に合わせて、市町村の5歳刻みの人数を推計
- ④ 要介護4・5の認定者 介護給付実態調査(5歳刻み)

$$\text{がん検診対象者数} = \text{①} - \text{②} + \text{③} - \text{④}$$

[男女別 5歳刻みの各年齢群での対象者数の合計人数]

子宮がん、乳がんについてはそれぞれ20歳以上、40歳以上の女性とする。

# 自治体人口ー就業者人口

市町村がん検診対象者

## 40歳以上人口

### 農林水産業・自営業者

国民健康保険加入者

入院

介護施設等への入所

人間ドックや医療で

政府官手健保・組合健保被保険者の被扶養者（扶養者の保険者等による検診あり）

政府官手健保・組合健保被保険者の被扶養者（扶養者の保険者等による検診なし）

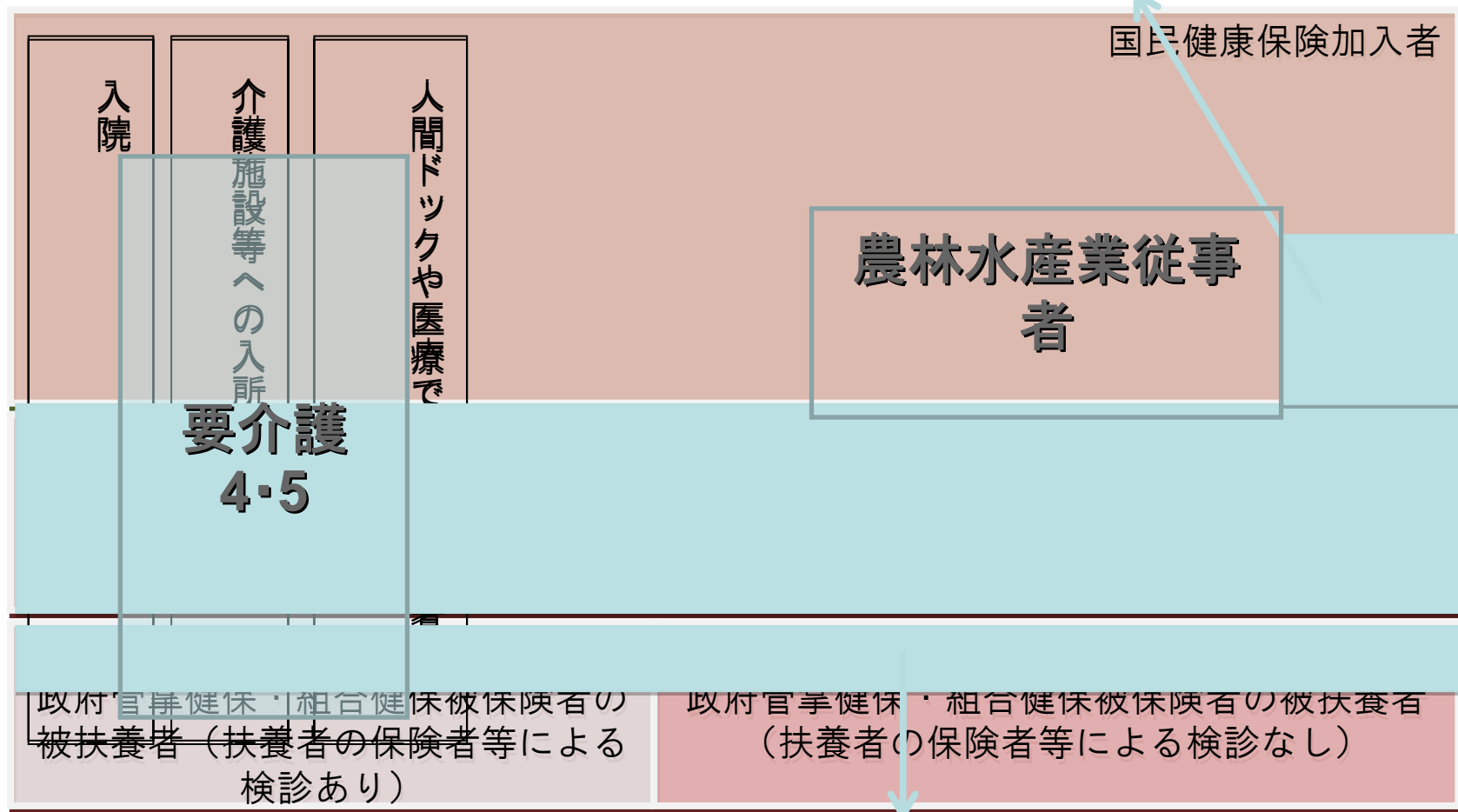
### パートなど就業している被扶養者

# 自治体人口ー就業者人口ー要介護者4・5+農林水産業従事者

市町村がん検診対象者

40歳以上人口

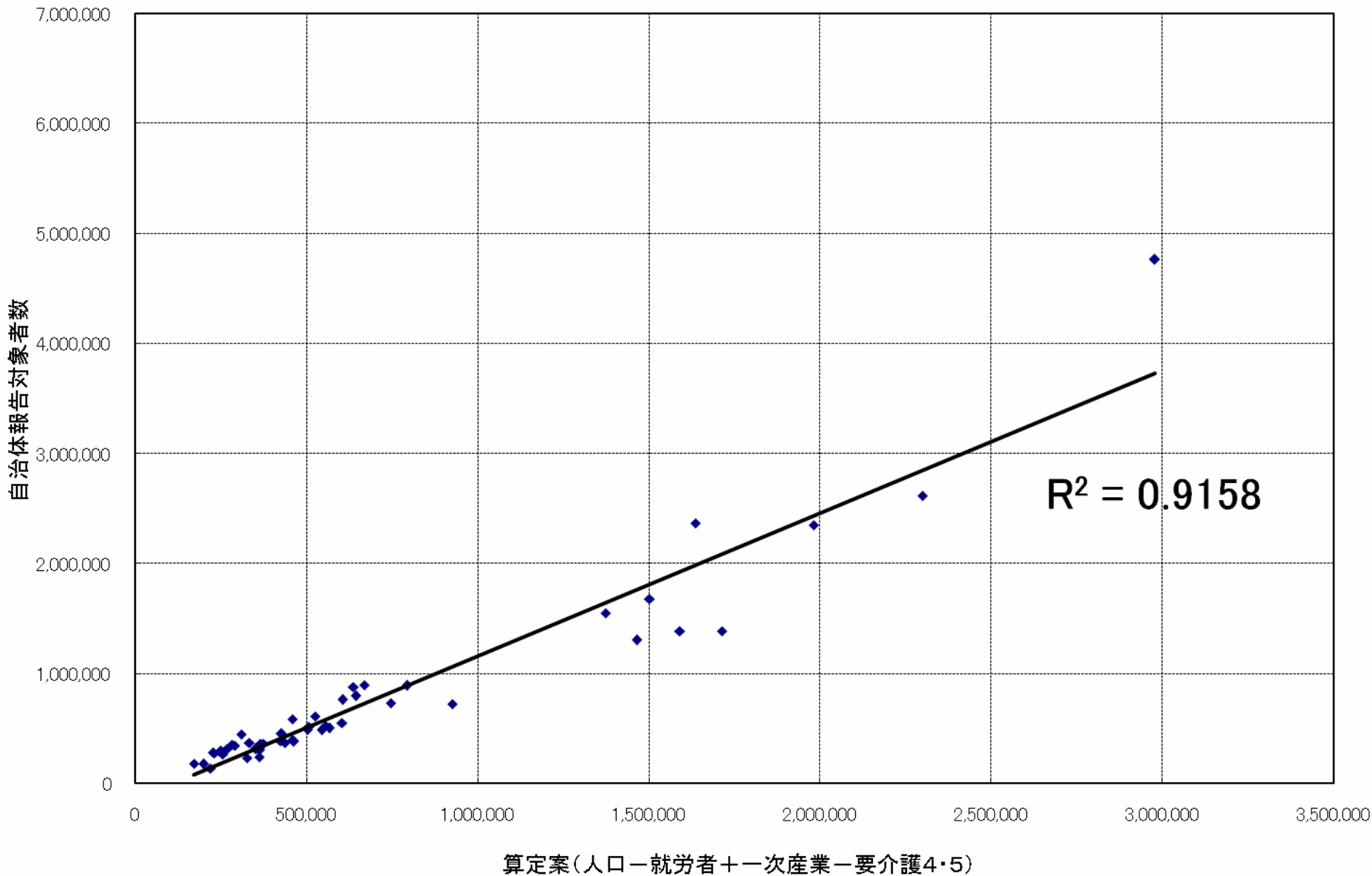
農林水産業・自営業者



パートなど就業している被扶養者

# がん検診対象者の自治体報告値と算定案との関係

平成17年度地域保健・老人保健事業報告の数値との比較



# 運用上の留意点

- ➡ 各自治体の従来の算定対象者数との乖離が大きい場合等においては、従来法を用いた算定も可能であるが、地域保健・老人保健事業報告等への報告については、標準的な方法で算出したデータを用いることとしてはどうか。
- ➡ 市町村での算定については、国勢調査の人口や就業者人口が算定の基礎となるため、国勢調査の結果が更新された場合に算定し直すこととし、最低5年に1度算定を見直すこととしてはどうか。